

今、先達の声を聞く

400歳の伝言

今はどんな時代……。90歳代の先達の叫び、体験、ペン、語り……。
“戦争を知らない”私達や、未来を担う世代は何を聞きとるのでしょうか。
初めての世代を超える「集い」です。[今、声を]
いろいろな多くの皆さんのお集まりを!!



92歳・アジア

石田甚太郎さん

作家。1922年福島生まれ。太平洋戦争末期に起きた日本軍によるフィリピン人虐殺事件で、被害者の証言集などを出版。『ワラン・ヒア』『日本鬼』『マンゴーの花咲く戦場』『ロラたちの青春』など



92歳・語り部

堀田シズエさん

元従軍看護婦。広島県生まれ。被爆体験と、「憲法九条」の語り部として活躍中。
看護婦資格取得後、広島陸軍病院、中国・北支派遣軍済南病院に勤務。帰国後、広島で被爆。昭和33年原爆手帳を取得。



91歳・戦犯

稲葉 績さん

元日本兵。内戦状態の山西省に軍命で残され、軍閥の間錫山部隊と共に共産軍と新中国成立直前まで戦い、戦犯として太原戦犯管理所に収容された。その後、認罪・謝罪した。軍事裁判で起訴免除即釈放となり、帰国。



96歳・被爆医師

肥田舜太郎さん

医師。昭和20年8月6日、広島で原爆を体験。「原爆を体験した最後の医師として、現代の人に残らず話しておきたい」と、68年経った今も医師を続けながら各地で講演会を開き、戦争・核兵器・原発反対を国内外で訴え続けている。

日時 3月21日(金)祝日 午後2時

場所 浦和コミュニティセンター
第15集会室

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1

JR浦和駅東口・浦和パルコ/コムナーレ9F

参加費 1,000円

疲れた、おびえたら、思い切り声を出せ
産声の復習だ もりもり元気になる

むのたけじ 99歳一日一言 より <岩波新書>

プログラム

- 13:30 開場受付
- 14:00 開会
- 14:10 石田甚太郎さん
- 14:30 堀田シズエさん
- 14:50 歌・塚原曄子さん
- 15:00 休憩
- 15:10 稲葉 績さん
- 15:30 肥田舜太郎さん
- 15:50 各人へ会場からなど
- 16:30 閉会 (全員で「故郷」)

パフォーマンス 塚原曄子さん



1932年福岡県生まれ。久留米医科大学助産婦科卒。東京国際大学保健室に勤め学生相談室委員も(16年間)。現在も学生たちと一緒に楽しく歌っています。従軍慰安婦、原発問題もみなさまに引っ張られながらやっています。
歌・ロンドンデリーの歌
見上げてごらん夜の星

集い呼びかけ人 (2月28日現在)

江藤善章(川越唐人揃いパレード実行委員会)、杉田明宏(大東文化大学)、石井碩桁(比企ネット)、太田英雄(さいたま口バの会)、秋山淳子(埼玉9条連)、井出明子(宮原9条の会)、小川満(埼玉コリア21)、岩田治樹(治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟)、今井裕子(日本機関紙協会埼玉県本部)、吉澤倫子(埼玉県平和資料館を考える会)、武内暁(埼玉新聞サポーターズクラブ)、新崎博昭(埼玉まで市民ネット)、斎藤紀代美(子ども権埼玉ネット)、長内経男(市民じゃーなる)、堀口邦子(9条の会・さいたま)、小川美穂子(さきたま新聞)、野村真巳(撫順・大原の奇蹟を受け継ぐ会)、佐藤征治郎(県議)、岡まち子(元県議)、白田真希(原発さよならデモ@埼玉)、小山真理子(埼玉合唱団)、芹沢昇雄(NPO中帰連平和記念館)、荒川美智代(南京へ道、史実を守る会)、